

越前中学校の現状と課題



1 学校概要 ①

- ▶昭和48年11月建築、築47年
- ▶普通教室9、特別教室12



1 学校概要 ② 生徒数の推移

年	できごと	学級数	生徒数
昭和48年	越前中学校創立 (四ヶ浦中と城崎中合併)	15 (特1)	473
平成17年	越前町立越前中学校となる。	7 (特1)	178
平成27年	5年前	6 (特1)	103
令和2年	現在	4 (特1)	77
令和7年	5年後	4 (特1)	74

1 学校概要 ③ 令和2年度生徒・教職員数

令和2年度生徒数一覽

	1組		計	特別支援学級		合計
	男	女		男	女	
1年	15	13	28	1	0	29
2年	15	16	31	1	0	32
3年	8	8	16	0	0	16
合計	38	37	75	2	0	77

教職員数

教員	10
講師	3
事務職	1
生活支援員	1
A L T	1
用務員	1
部活動指導員	1

2 学習指導 ①

～深く考え議論する道徳・教科～

- ・道徳科を中心とした授業改善
- ・考え議論する授業づくり



授業後の検討会



2 学習指導 ②

～地域との連携推進～

- ・ 越前地区のよさを発見・発信する
- ・ 越前地区に貢献する



海開き前に海岸清掃ボランティア



地域コーディネーターと生徒会との話し合い

3 生徒指導 ① ～自己肯定感、所属感の育成～

- ▶ パーソナルポートフォリオ、ピアサポートの研究・実践
- ▶ 生徒会活動、委員会活動の活性化



ポジティブ教育のオンライン研修



生徒集会（委員会発表）

3 生徒指導 ②

～豊かな心の育成～

- ▶ あいさつ運動、ハイタッチ運動
- ▶ いじめ予防・安心して登校できる学校

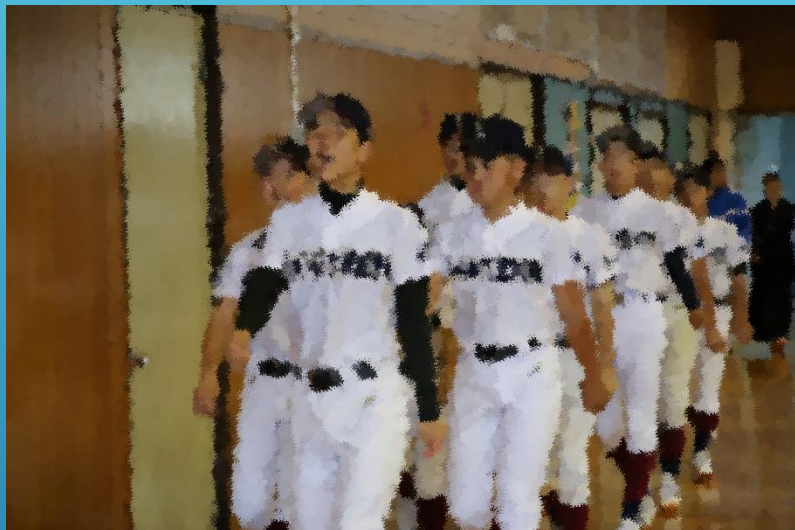


ハイタッチあいさつ運動



いじめ防止教室

4 部活動



部活動名	1年	2年	3年
野 球		4	1
男子バレーボール		7	5
女子バレーボール		6	1
女 子 卓 球		6	0
吹奏楽		6	9
校外部		2	0
		(野球・剣道)	

5 教員の指導力向上



道徳科を中心とした授業改善
(一人一研究授業)



模擬授業

6 学校運営

- 1 スクールプラン達成に向けた**PDCA**サイクルによる取り組み
- 2 組織的・計画的、重点を絞った共通理解・共通実践
 - ・学習部会
 - ・生徒指導部会
- 3 中間、年度末に結果分析と検証

7 地域との連携



地区行事にボランティア参加



地域おこし・地域のお宝発見研修会

8 少人数のメリット ① 生徒にとって

- 1 生徒同士が互いをよく知っている。
- 2 生徒ひとりひとりに活躍の場がある。
- 3 保護者同士や地域でのつながりが深い。
- 4 先生やカウンセラーに相談しやすい。

8 少人数のメリット ② 教職員にとって

- 1 要支援の生徒、配慮を必要とする生徒を全職員が把握し対応することができる。
- 2 生徒全員に活躍の場を与えられる。
すべての生徒が選手、演奏者として大会等に出場できる。
- 3 急な変更が可能である。

8 少人数の課題

① 生徒にとって

- 1 クラス替えがない。関係悪化の場合、逃げ場がなくなる。
- 2 部活動の選択が少ない。
- 3 部員数が少なく、切磋琢磨する機会が少ない。
部活動の大会に合同チームを組んで出場する必要が生じる。
- 4 合唱コンクールや球技大会等、学級対抗行事の運営において学級対抗の要素を入れることができず、盛り上がりが少ない。
- 5 学校の清掃が行き届かない。

8 少人数の課題 ② 教職員にとって

- 1 校務分掌を多く受け持つ必要がある。
- 2 同じ教科担当教員との相談ができないため、教科の研究が深まりにくい。
- 3 定期考査問題を複数学年分作成する必要があり、テストの質の維持、向上が課題である。
- 4 出張、年休が重なると対応が難しい。